

## 日本技術士会神奈川県支部第113回CPD講座 報告書 HP用

開催日	2022年8月27日(土)
開催時間	13:30～16:50
名称	技術者倫理を考える ～環境と技術者倫理～
主催	公益社団法人 日本技術士会 神奈川県支部
開催場所	産業貿易センター 3階 302会議室 および Web 中継
行事内容	講演会
参加人数	124名(会場14名+Web 110名)

### 内容

#### I 講演概要

##### 【講演1】「技術者倫理との出会い～個人的な経験と想い～」

講師：日本技術士会 元 原子力・放射線部会長、元 倫理委員会委員長（電源開発(株)勤務）  
桑江 良明 様（技術士(原子力・放射線部門)）

講演者は、2004年に新設の原子力・放射線部門の技術士となって以降、日本技術士会の原子力・放射線部会及び本部倫理委員会を中心に活動してきた。その間、東日本大震災に伴う福島第一原発事故を経験した。事故を契機に、(企業に属する技術者としてではなく)一技術士としてこれまでの自身の行動について深く考え仲間と議論し新たな活動に反映した。

“技術士として倫理的でありたい”と考え、所属組織としてではなく技術士個人として自発的・自律的に行動することが、(世間の厳しい目に晒されながらも)技術者の業務遂行上で最低限必要となる“自信”と“誇り”に繋がり得ることを、福島第一原発事故後の活動を通じて自らが実感した。上記の個人的な経験と想いを一事例として講演された。

##### 【講演2】「SDGsと技術者倫理～環境行政を通じて～」

講師：日本技術士会 建設部会 幹事、環境省 水・大気局 水環境課 海洋環境室 室長補佐  
出向：復興庁本庁 福島国際研究教育機構準備室 参事官補佐  
峯岸 律子 氏(技術士(建設部門))

2050年カーボンニュートラル実現、自然環境の保全、いずれもSDGsの重要なテーマでありつつ双方の実現にはトレードオフの課題をはらんでいる。正解を求めるのではなく現時点で検討できる最善の選択を追求することが重要である。

講演者が担当した、着床式洋上風力の事業終了後の残置に伴う海洋汚染防止法の規制改革の対応、福島 の環境再生に向けた除去土壌の再生利用などの取り組みの事例を挙げて、講演者が政府の規制改革の対応や環境行政の現場で感じた環境倫理の視点の重要性や、SDGsと技術者倫理の話題について講演された。



← 会場全体